

しらべたいことがわかるようなタイトルをつけよう。

すずしく過ごせる

服の色

どうしてしらべようと思ったのか、きっかけになったことを書こう。

きっかけ

夏は毎日あつくて大変だ。熱中症にも気をつけないといけない。

何か自分で工夫できることはないだろうか?

たとえば服の色を工夫して、少しでもすずしく過ごせないだろうか?

実験のやり方

常温の保冷剤をいろいろな色の布でまく。保冷剤にあけた穴に温度計をさして、はじめの温度を

はかって書きとめる。

たなにのせて日のあたる場所においておき、10分おきに温度を

はかって書きとめる。

予想

しらべる前に、けっかをよそうして書く。よそうした理由も書こう。

くろやあかなど、こい色のほうが太陽からの熱をうけて温度が高くなると思う。



なまえをわすれずに書こう。

ねん ぐみ なまえ
年 組 名前 ()

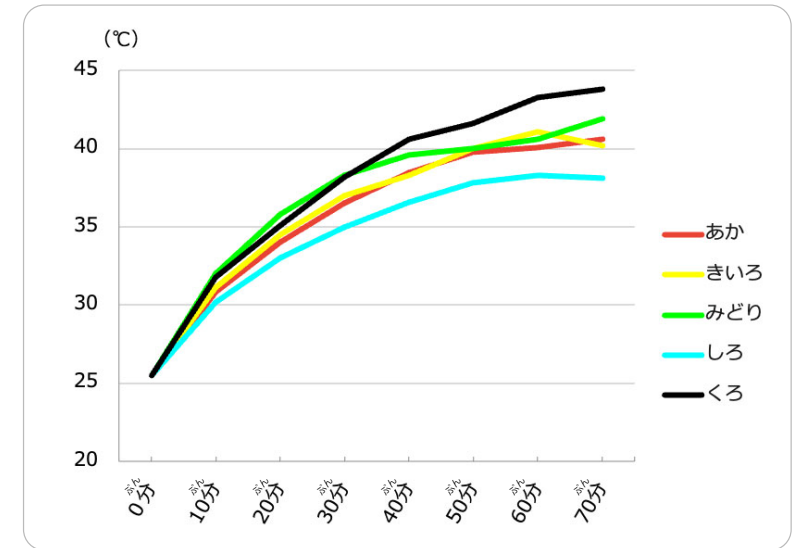
結果

くろが一番温度が上がったけど、二番目はあかではなく、

みどりだった。

しろが一番温度が上がらなかった。

じっけんのけっかだけを書く。表やグラフ、しゃしんをつかうとわかりやすいぞ。



わかったこと

色によって太陽からの熱のうけやすさがちがうことがわかった。

けっかからわかったこと、かんがえたことを書く。よそうとちがったときは、どうしてそうなったのかかんがえてみよう。



まとめ

けっかとわかったことをまとめて、つぎにしらべてみたいことを書こう。

服やカーテンの色を工夫することで、すこしでも夏はすずしく、冬はあたたかく過ごすことができるのではないかと思った。そうすれば、エアコンなどに使われるエネルギーの節約につながる。地球温暖化をくいとめるために、一人ひとりができることを、少しずつでもやっていくのは大切だ。次は素材のちがいでどう変わるか、調べてみたい。